

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	649 数量調整円滑化推進事業	会計	01	一般会計
基本	42 持続的で个性的な農林業を実践する	款	06	農林業費
策		項	01	農業費
策	3 多様な担い手や営農組織の育成確保	目	04	農業生産対策費
		細目	101	生産調整推進対策事業
		細々目	01	数量調整円滑化推進事業
基本計画該当頁		160		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード 553500 名称 伊賀支所産業建設課	評価者 氏名	北川 幹洋	連絡先 45 - 9119 (内線) 300

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	管内の水稲農家及び伊賀地域水田農業推進協議会 (対象件数)	米の生産数量配分及び適正出荷が出来る。
本年度事業内容	転作確認事務を24集落に委託し確認事務を円滑に行った。	状況変化等
根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付規則	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	補助	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
数量調整確認事務実施集落	箇所	目標	24	24	24
		実績	24	24	24
		目標			
		実績			

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
水稲作付け率	米価の安定のためには100%未満が必要	%	目標	97	97	97
			実績	97	97	97
			目標			
			実績			

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	米価の安定のため必要である。
有効性	4	米価の安定を維持するには、米の生産超過を防止しなければならないため有効である。
達成度	4	予定通りおこなわれている。
効率性	4	現地確認事務作業等に係る経費の削減につながる。水田農業推進協議会が伊賀市で一本化されたため効率的な運営がされ、経費の効率化が図られると考えます。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	米価の安定の確保のため制度の継続が必要と思われる。

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額	事業内容	数量	金額
委託	事業内容	委託料		(千円) 720	委託料		(千円) 0	委託料		(千円) 720									
		工事																	
進捗率 (%)		その他		259	その他		181	その他		259									
事業費計(A)				979	事業費計(A)		181	事業費計(A)		979									
事業投入人員		人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440	人件費(B)	0.2	人 1,440
フルコスト (A)+(B)				2,419			1,621			2,419			2,419			2,419			2,419

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	979	181	979	979	979
国庫支出金	979	181	979	979	979
県支出金					
地方債					
受益者負担					
その他					
一般財源	0	0	0	0	0
計	979	181	979	979	979
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率	国10/10	国10/10	国10/10	国10/10
	地方債の区分と充当率等				